



パワフルな歌声と笑顔で観客を魅了 ～議場コンサート～

市民に親しまれる議会を目指し、年2回開催している議場コンサート。6月13日は本市を拠点に活動しているシンガーソングライター松本加奈子さんの演奏が行われました。

当日は、このまちで生まれ育った松本さんの演奏を聴くために、50人を超える観客が傍聴席を埋め尽くしました。明るく楽しく元気よくをモットーとしている松本さんのパワフルな演奏が終わると、会場からは大きな拍手が送られました。



優しい心で花を育てよう ～人権の花運動～

市内の小学校の児童を対象に行われた人権の花運動。この活動は、児童たちが協力し合って、花を育てることで、互いを認め合ったり、命を大切にしたりする気持ちを育むため毎年行われています。6月10日には、人権擁護委員からマリーゴールドやブルーサルビアなどの苗が塩原小中学校の3・4年生に贈られました。児童代表であいさつをした4年生の坂内秋翔くんは「友達と協力して植えた花を大切に育てたい」と話してくれました。



ペダルに全力を込めて 1秒でも早く ～那須塩原クリテリウム～

6月8日、那須塩原駅前特設会場にて那須塩原クリテリウムが開催。プロの走りを一目見ようと、沿道には多くの観客が訪れました。平均時速40キロを超える驚異的なスピードで、目の前を通り過ぎる選手たち。優勝をかけたラストスパートには、沿道からひと際大きな声援が送られました。56kmにおよぶレースの終盤とは思えないほど、全速力で風を切る選手たちの迫力に、会場にはどよめきが広がりました。



1 カーブを攻める選手たち。目の前を瞬間に通り過ぎていく
 2 午前のレースで、大粒の雨にも関わらず全力を出し切った子どもたち
 3 ラストスパートには大歓声が
 4 表彰では、本市が誇る牛乳もプレゼント



有事に備え、練習の成果を発揮 ～市消防団消防操法競技会～

消防団員の機械操作の正確さや速さを競うポンプ操法競技会。6月16日に行われた塩原支団の競技会では、雨の降る最悪のコンディションの中、早朝や夜間に練習を積み重ねてきた成果を発揮しようとして、選手一人一人がたくましい姿を見せていました。

競技が終了すると、会場からは多くの激励や拍手が沸き起こり、降りしきる雨をものともせず、力を出し切った選手をねぎらっていました。



異国情緒あふれる南米の音楽にのせて ～旧青木家那須別邸コンサート～

毎年恒例となっている青木邸コンサートが、6月8日に行われました。この日は、南米民族楽器奏者として活動する市内在住の高山直敏さんとアルパ奏者の塩満友紀さんが民族衣装に身を包み登場。ケーナやサンポーニャなど、普段あまり目にする事のない楽器が次々と披露されました。

集まった200人ほどの観客は、「コンドルは飛んで行く」や「赤ワイン」など10曲以上もの南米音楽に聞き入っていました。



母校の後輩たちにエールを ～原博実さんが黒磯中で記念講演会～

現在Jリーグ副理事長で、本市まちづくり大使を務める原博実さんが、母校の黒磯中学校の体育館落成式で生徒約250人に対し講演を行いました。

黒磯小5年からサッカーを始め、黒磯中のグラウンドで練習に没頭した思い出を交えながら、ボールを追いかけ続けた自らの半生を紹介。「自分の中で大切にしたいことを見つめること。そして、誰かのため、世の中に貢献するために、自分の力を発揮して欲しい」とアドバイスを送りました。



モ～待ちきれない！ 入牧始まる ～八郎ヶ原放牧場入牧～

5月28日、八郎ヶ原放牧場で入牧が始まりました。今年は牧草の伸びが悪く、例年より遅れての入牧となりましたが、市内の酪農家6戸から42頭のホルスタインが運ばれてきました。

51ヘクタールの広大な牧草地を前に、運ばれてきた牛たちは大喜び。牧草地に放されると、牛舎では見ることのできない「牛の運動会」が行われました。放牧は10月下旬まで続き、今シーズンは50頭以上が放牧される予定です。